

ひとよし 市議会だより

第98号

2018 / 平成30年11月1日 発行



収穫の秋、今年の収量は？旨味は？

主な内容

- ② 9月定例会報告
- ⑤ 市政の内容を問う
～一般質問に14名の議員が登場～
- ⑫ 12月定例会からYouTubeで
議会中継を配信！
議会報告会・意見交換会に
お越しください

編集 議会報編集委員会

発行 人吉市議会
人吉市下城本町1578番地1
☎ 0966-22-2111 (代)
E-mail gikai@hitoyoshi.kumamoto.jp

市のホームページでもご覧になれます
URL <https://www.city.hitoyoshi.lg.jp/>

9月定例会報告

平成30年9月第4回定例会は9月4日から9月26日までの23日間開催しました。

一般会計補正予算

3億7,944万8千円 増額可決

(補正後の総額は186億6,070万7千円)

一般会計補正予算の主なもの

教育用コンピューター
管理費（電子黒板購入）

1,104万1千円



まち・ひと・しごと
総合交流館施設改修工事費
(温泉施設トイレ改修、フェンス新設等)

890万8千円

マンホールトイレ
整備事業
(建屋本体・
便器購入等)

480万円



決算特別委員会を設置しました

9月定例会最終日に、平成29年度の決算を審査する決算特別委員会を設置しました。委員会は閉会中に審査を行い、12月定例会で結果を報告します。

委員長 宮崎 保

副委員長 宮原 将志

委員 大塚 則男・平田 清吉・西 信八郎
本村 令斗・村上 恵一



総務文教委員会報告

●委員長 大塚 則男 ●副委員長 宮崎 保
●委員 平田 清吉・犬童 利夫・西 信八郎・本村 令斗

一般会計補正予算(第4号)を承認

○補正の主なもの

- ・ 地区公民館施設整備費補助金 88万5千円
大畑麓町、浪床町、宝来町の3公民館の施設整備に対する補助金です。
- ・ 非常備消防費 45万4千円
山間部等における初期消火に使用するジェットシューター15個の購入経費です。田野町、矢岳町、鹿目町の3町内の機能別消防団の詰所に各5個配備されます。
- ・ 災害対策費 506万7千円
災害対策としてマンホールトイレ整備事業による建屋本体、便器など備品購入に要する経費等です。
- ・ 学校管理費(小学校) 324万9千円
来年度の小学校入学児童への入学祝い品(体操服上下)購入経費のほか、東小学校と東間小学校のイオン化式煙感知器の取替修繕などに係る経費です。
- ・ OA機器購入費(小学校) 679万8千円
各小学校に電子黒板を2台ずつ、合計12台配備するための経費です。
- ・ OA機器購入費(中学校) 424万3千円
第一中学校と第二中学校に電子黒板1台ずつ、第三中学校にiPadを20台配備するための経費です。
- ・ スポーツコーディネーター業務委託料 127万1千円
小学校運動部活動の社会体育移行に伴うスポーツコーディネーター業務委託に係る経費です。
市のほうでは、現在の部活動の時間帯で、各小学校の施設を利用して、特定の種目ではなく、総合的な運動を実施するという事で、検討委員会で意見をいただきながら進めています。実施については本年度2学期後半から3学期にかけて予定されています。委託期間は平成30年10月1日から平成31年3月31日、委託先としてNPO法人 人吉市体育協会が予定されています。
- ・ 債務負担行為補正の追加(給食調理業務委託料) 2億2,680万円
次期委託業者を選定するにあたり、根拠となる予算を確保する必要があるため、事業期間を平成34年度までとして、限度額を2億2千680万円とするものです。

厚生委員会報告

●委員長 高瀬 堅一 ●副委員長 永山 芳宏
●委員 塩見 寿子・井上 光浩・三倉 美千子・田中 哲

条例の一部改正・規約の変更4件を承認

○人吉市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例：消費者教育推進地域協議会の会長月額報酬額 6,000 円、委員月額報酬 5,500 円の規定が追加されました。

○人吉市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例：改正点は、代替保育に係る連携施設の確保義務の緩和、家庭的保育者の居宅で保育が行われている家庭的保育事業に対する自園調理に関する規定の適用猶予期間の延長、家庭的保育者の居宅で保育が行われている家庭的保育事業に対する食事の提供の特例に係る外部搬入施設の拡大です。

○人吉市介護保険事業計画等策定・運営委員会条例の一部を改正する条例：人吉市介護保険事業計画等策定・運営委員会委員の任期が現行の2年から3年に変更、委員会の運営に関し必要な事項について委員長が委員会に諮って決める等補則事項が改正されました。

○熊本県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更：広域連合協議会議員の定数を現行の32人から構成市町村から各1人の45人とし、議員の選出方法を団体推薦又は個人推薦から各市町村議会の選挙とし、議員の任期を2年から「市町村の長又は議員の任

期」に変更し、構成45市町村の同文議決を必要とするものです。「住民の声をしっかり代弁できることが担保できないと思う」との反対の意見があり、挙手による採決の結果、賛成多数で原案のとおり認めました。

井ノ口第二水源地自家用発電施設整備に伴う債務負担行為を承認

井ノ口第二水源地自家用発電施設は、予想困難な大規模地震や風水害等の自然災害や突発的な事故による停電に備え、自家用発電施設の整備を行い災害時等の水道水の供給を確保するものです。来年度からの稼働を目指しており、今年度から準備を行う必要があるため、リース契約に関する予算の債務負担行為を承認しました。



井ノ口第二水源地自家用発電施設整備予定地

経済建設委員会報告

●委員長 笹山 欣悟 ●副委員長 豊永 貞夫
●委員 宮原 将志・福屋 法晴・村上 恵一・仲村 勝治

曙橋補修工事請負額を4億3,661万5,089円に減額し締結

曙橋補修工事については、平成30年3月定例会において、塗膜剥離剤を使用した工法に変更し対処するため、工事請負額を4億4,102万3,355円に変更し承認しました。今回、ひび割れが当初の見込みより増えたことなどにより2,137万3,862円の増額、塗装塗り替え工、舗装・防水工及びその他の工種で2,578万2,128円の減額となり、合計で440万8,266円の減額となったため、工事請負額を変更するものです。

一般会計補正予算経済部関係に4,545万3千円、建設部関係に2億2,218万8千円を計上

経済部関係においては、耕作放棄地解消支援事業交付金、梢山ため池ハザードマップ作成業務委託料、西間上地区の水路及び温泉地区の用排水路、下戸越地区頭首工改修工事費、くまもとの森林利活用最大化事業補助金、くま川下り株式会社における新造船事業に対する補助金、まち・ひと・しごと総合交流館における温泉施設のトイレ改修、施設正面玄関口周辺の既存ブロック塀の撤去及びフェンス新設工事などを計上しています。

委員から、くま川下りの補助金についての質疑があ

り、執行部から「総事業費が2艘分400万円で、その内半分の200万円を補助するものである」との説明がありました。

また、まち・ひと・しごと総合交流館について委員から、「温泉の場所がわかるようにしてほしい」「看板を人吉駅に設置してほしい」といった意見があります。

建設部関係においては、ユニバーサルデザイン建築物整備促進事業補助金、市内一円の道路維持補修費、社会資本整備総合交付金事業で行う市道路線の測量設計業務委託料、曙橋補修工事費などを計上しています。

また、平成30年6月19日から21日及び7月5日から8日の梅雨前線豪雨により発生した矢岳四ツ谷線路肩及び落石防護柵災害復旧工事費、柳田川河川災害復旧工事費等が計上されており、現地視察を行いました。



矢岳四ツ谷線路肩崩壊現場

市庁舎建設に関する特別委員会報告

●委員長 永山 芳宏 ●副委員長 高瀬 堅一

●委員 塩見 寿子・犬童 利夫・西 信一郎・笹山 欣悟・村上 恵一・三倉 美千子・仲村 勝治

第29回目を9月5日に開催

申告会場確保に向けた西間別館配置計画案が提示される

申告会場確保に向けた西間別館配置計画案は、申告会場を現在税務課が執務室として使用しているプレハブを活用するため、西間別館2階の配置変更が必要になります。環境課を農業委員会の隣に移動し、環境課の執務室を会議室に、2階にある2つの会議室を建設部管理課市営住宅係と高齢者支援課分室に、福祉課隣の書庫室を1階の階段室に移して書庫室の壁を撤去し、空いたスペースに福祉課をずらし、高齢者支援課分室と建設部管理課市営住宅係の執務室だった場所を税務課とする計画です。また、今年中の発注は困難だが、エレベーター設置が検討されています。なお、西間別館の配置変更に伴う移動は、11月23・24・25日の連休中に予定されています。執行部からは市民の皆様にご迷惑がでないような形で考えているとの説明を受けました。その移動に伴う費用として、壁等の撤去の費用が約240万円、LAN配線工事等の費用は予備費での対応を見込んでおり、既決予算で対応

したいとのことでした。委員からは、西間別館のリノベーションの時期について、エレベーターは必要かの質疑がありました。間仕切り等の予算240万円等は既決予算で対応することに承認決定しました。

新庁舎等什器整備基本計画案

新庁舎等什器整備基本計画案の基本方針は、災害復旧活動を迅速に行うため業務継続性の確保、オープンフロアへの対応、ICTや文書管理など他の施策との連携、コスト削減が挙げられています。また什器等整備基準として、机・椅子・収納・会議机等の規格について資料をもとに説明があり、委員からは、使用可能な机・椅子等はどうするのか、ユニバーサルプランにマッチするのか、新JIS規格の物はどれくらいあるのか等の質疑がありました。

旧熊本地方法務局人吉支局取得を契約

九州財務局と見積もり合わせを実施した結果、取得契約金額800万円で国と契約を締結したとの報告がありました。

治水・防災に関する特別委員会報告

●委員長 福屋 法晴 ●副委員長 宮崎 保

●委員 宮原 将志・大塚 則男・平田 清吉・井上 光浩・豊永 貞夫・本村 令斗・田中 哲

第16回治水・防災に関する特別委員会を9月5日(水)、午前10時から開催し、行政視察について、熊本県管理河川の水位についての2点の審議を行いました。行政視察については、熊本地震における被災地の復旧・復興について現地視察を行い、今後の人吉市の治水・防災対策の参考にするためのものです。

次に熊本県管理河川の水位については、球磨地域振興局の森土木部長を初め3名の方々にご出席をいただき、「万江川及び胸川の水防基準水位について」、「洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホットラインの構築)について」、「危機管理型水位計について」の3点について詳しく説明をいただきました。

1点目の「万江川及び胸川の水防基準水位について」は、知事が洪水により重大な損害が生じる恐れがあるものとして指定した水位情報周知河川において、水防管理者や地域住民に水防活動や避難活動の指針となる水位情報を提供するもので、県内67河川に設置されており、人吉市内では、万江川と胸川に水位が設定されています。水防団待機水位、氾濫注意水位、避難判断水位、氾濫危険水位の4種類あります。

2点目の「洪水時における河川管理者からの情報提

供等(ホットラインの構築)について」は、平成28年台風10号の岩手県岩泉町の水害において、避難勧告の発令基準に達していたことが町長に伝わらず、避難勧告が発令されない状況の下、死者・行方不明者が、21名に上ったことから、平成29年2月に「中小河川におけるホットライン活用ガイドライン」が策定されました。ホットラインは、水防警報河川において、氾濫危険水位に達した際に市町村長等に直接河川水位情報を提供するもので、適切に判断できるようにするためのものです。

3点目の「危機管理型水位計について」は、近年の豪雨災害を踏まえ、国土交通省が「全国の中小河川の緊急点検」により、人家や重要な施設の浸水の危険性が高く、的確な避難判断のための水位観測が必要な箇所を選定するもので、人吉市においては、山田川(五十鈴橋)と出水川に設置予定とのことでした。

その後委員から、危機管理型水位計の情報は携帯電話に常時入ってくるのか、水防基準水位について観測点以外の橋脚にも表示することはできないかなどの質疑が上がり、今後県河川課において検討していきたいとの説明がありました。

一般質問

～市政の内容を問う～

一般質問とは、年4回行われる定例会で、議員が市に対して政策の見直しや新たな政策を提言する議員の重要な活動の一つです。

9月定例会では、9月11日から13日までの3日間で14人の議員が登壇し、さまざまな視点から活発な議論が行われました。

その要旨を各議員が報告します。掲載は質問順としています。

無駄になった税金の責任を
どう取るのか



本村 令斗

問 人吉しごとサポートセンター長の解雇で、幾らの税金が無駄になったのか。

答 896万7,051円。

問 この事業が市の重要施策ということ、市長の肝いりということ。公募という方法を取り、審査で失敗した責任は、市長にあるという認識はあるのか。

答 採用を決定したのは市であり、事業を予定どおり進めることができなかったことで、成果に結びついていない経費が生じていることは認識している。

問 市長として、どのような責任を取るつもりか。

答 事業が円滑に推進できるようになり、事業全体で評価していただける時期になったときに、判断したい。

生産意欲の向上につながる
畜産振興について



笹山 欣悟

問 人吉市繁殖肉用牛導入等資金貸付基金運用の課題と解決策は。

答 基金創設時の子牛平均価格は53万7千円、現在の平均価格は、72万7千円で、約1・4倍の価格上昇となっている。また、1農家1頭までという制限もあった。そのため、農家の意見と利用状況を踏まえ、頭数制限を緩和したい。基金の貸付は現在の運用を維持したい。

問 基金の貸付は、平均価格を考慮し、引き上げる考えはないか。

答 検討していきたい。

問 子牛保留奨励金の対象から外れた子牛に対しても交付できる措置はできないか。

答 農家の方々の生産意欲が向上されるが、市の財政が厳しく、現行の審査基準で選考したい。



本市の避難情報発令と

給食費徴収について



豊永 貞夫

問 今年6月7月の豪雨の際発令された避難情報で、実際に避難された方は1%にも満たない状況だった。「平成30年7月豪雨」での被害状況を考えると、速やかに避難してもらうための対策が必要だと考えるがどうか。

答 全戸に配布してある防災マップに今一度目を通していただき、避難情報を信じて行動していただきたい。出前講座や広報紙を活用して避難情報の周知を図っていききたい。

問 全国的に、学校給食費の徴収を学校単位で徴収する方式から、直接市が徴収して管理する「公会計」方式が増えているが、本市の考えは。

答 他自治体の状況など、検討・研究が必要だと考えている。

都市計画区域・都市計画税の

見直しについて



平田 清吉

問 本市の都市計画マスタープランは、約20年前に制定されたものであり早急に見直すべきでは。

答 現在のマスタープランの計画期間は、2022年までとなっており、残り4年をかけて計画を準備していきたい。

問 現行の都市計画区域及び都市計画税は、見直すべきでは。

答 都市計画区域に指定することで、区域内における建築行為や開発行為等に対するの許可制度、建ぺい率や容積率といった建物の規模に係る規制、敷地の接道義務や道路後退など一定の制限が課せられることになり、現時点では慎重でありたい。都市計画税は目的税であり、まちづくりや生活環境整備、保全事業の財源としており、見直しは困難。

市庁舎建設は地元企業体で

施工すべき



福屋 法晴

問 新市庁舎の予定価格事前公表・工事発注計画については。

答 工事指名競争入札参加選定で新市庁舎建設に伴い予定価格の事前公表について、入札発注のあり方について、充分検討の上判断をしていきたい。

問 各種団体から提出された陳情の取り扱いについての考えは。

答 品質・競争性に充分配慮し、工事進捗状況において、地元事業者が受注できるよう発注に努める。建設資材納入・下請け業者等対応可能なものは、市内事業者利用に努めるように入札公告に明示することを検討したい。

※その他、小中学校部活動・家庭訪問の有無については、保護者・児童生徒に対し説明不足、丁寧に説明を行うことが必要と指摘した。

人吉球磨スマートIC 周辺道路の安全対策は



宮原 将志

問 紺屋町東間線（国道219号東間交差点から菊竹歯科付近）の道路へ張り出している樹木や竹などについて、道路管理者としてどのように考えているのか。

答 車両等の通行に支障となる部分については、支障木伐採業務委託での伐採を検討していく。

問 青井西間線（国道219号から、みのだ内科循環器科付近）の歩道未設置部分についての今後の整備方針は。

答 人吉球磨スマートICの開通や新市庁舎が完成すると、周辺道路の利用状況が大きく変わってくると考えている。交通量の調査や県との協議を行いながら今後の整備方針を決定したい。

※その他、関係人口の創出、消防団員の確保について質問しました。

公共交通の空白地域の 運行計画は



宮崎 保

問 お試し永野号の利用状況と、委託費は。

答 平成28年度は1カ月間7回運行で利用が15人、29年度は4カ月間52回運行で利用が71人だった。委託料について、平成28年度は基本委託料を支払っているのでも、単純に比較はできないが28年度が26万8,300円、29年度が7万7,100円であった。

問 永野号の本格運行計画は。

答 利用者のアンケート結果は、通院、買い物が多く、自宅付近で乗り降りできる、ドアツードアを望まれる方が多かった。本格運用は、この実証運行で得られたデータを基に、新たなアンケートを行い、その結果を検証し、住民の意見を聞いた上で今後の計画を検討したい。

買い物支援・買い物弱者 対策について



大塚 則男

問 買い物支援・買い物弱者対策についてどのように考えるか。

答 厚生労働省、経済産業省など国においても議論がなされ、各地で買い物支援のさまざまな取り組みが行われている。本市においても買い物物は、食生活の維持に必須なものと捉え地域包括支援センターでも、どこで、どのように買い物され食を確保されるか、相談に乗っているとこである。今後、ますます高齢化が進む中、商工業等、他分野とともに連携し対策を立てていくべきと考えている。

問 民間業者と連携し、買い物支援事業を充実し継続すべきでは。

答 地域における自立した生活を長く続けるためにも買い物支援は、ますます重要と考えている。





子育て世代の

負担軽減について



塩見 寿子

問

大分県豊後高田市は「全国トップレベル！幼稚園、小学校、中学校の給食費、高校生までの医療費、共に無料！めざせ子育て満足度ナンバーワン！」と宣言、ふるさと納税を財源に充てている。本市のふるさと納税の寄附金総額は、平成29年度は1億6,658万円。18歳までの医療費無料化はあと1,520万円、給食費無償化はあと1億1千万円ほど、合計で1億2,520万円で実現できる。ふるさと納税を全部使うくらいの本気度で、子育て支援をしたらどうか。

答

ふるさと納税の使途は議会の承認を得て有効に活用している。さまざまな分野で使うように寄附をいただいているので、現在のところは難しい。

人吉しごとサポート

センターについて



高瀬 堅一

問

開所前に、センター長を解雇し、約900万円の税金が無駄となった。センター長の人選には市も入る予定と説明しながら入っていない。なぜ議会採択のとおりにならなかったのか。

答

事業主の方を増やしたほうが良いと判断して行ったが、市民・議会への報告や対応が不適切であったことをお詫びしたい。

問

損害の責任や損失補填については、どのようにするのか。

答

事業全体の評価を頂いた時に、市長として責任を判断したい。

※その他、多数の市職員の中途退職の現状の中「市職員の採用について」、また「学校教育現場から」として、小中学生のスマートフォン問題や学校施設の現状と整備計画について質問した。

行政ポイントの推進



村上 恵一

問

市民健診での健康ポイントを、きじ馬スタンプのポイント券に変更したが、その発行状況と市民の反応はどうか。

答

50ポイントの引換券を8月末現在で2,259枚発行。市民からは「健診を受けてポイントまでもらえるのは嬉しい」「ためる必要がないので使いやすい」など喜びの声が多い。

問

結婚や出産祝い、移住関連や空き家バンクなど、さまざまな分野での活用で、全国的に広がりつつある行政ポイントを本市もさまざまな事業で取り入れてみてはどうか。

答

各課の情報共有とともに、今後は費用対効果を含め、国や他の自治体の実態と動向を調査した上で検討していきたい。

豪雨災害対応と 防災重点ため池について



犬童 利夫

問 西日本豪雨では避難の遅れが被害の拡大の要因になっている。6月豪雨の状況と防災サポーターの研修等が必要ではないか。

答 東間校区5町内に避難指示を発令した。対象のうち避難された方は2・7%と少なかった。災害時に活動を行う防災サポーターへ火の国ぼうさい塾受講等の情報を提供し、防災士として活動していただきたいと考えている。

問 中小河川の水位計の設置は。

答 山田川五十鈴橋と出水川の下林町地内に危機管理型水位計を設置予定で、住民へ周知したい。

問 ため池の点検及び管理は。

答 市内4カ所あり、大雨や台風、地震時に点検し、修理等も実施。梢山防災重点ため池のハザードマップの作成を計画している。

野生猿の増加と行政の対応



仲村 勝治

問 野生猿の群れを管理する基礎情報が必要。この情報は、現地を歩き、被害状況や加害状況を調査する行政の担当者、獣の専門家、地域住民を一体にしたグループが必要。設置の考えは。

答 調査班の業務内容、個々の身分や待遇といった位置づけなど課題も多い。市の鳥獣被害対策実施隊の意見なども参考にしながら研究したい。

問 100頭の雌猿がいると100頭の子猿が生まれる。寿命は約20年。野生猿は年々増加するが、児童生徒の登下校への対応は。

答 大畑校区では児童の目撃情報はあるが被害報告なし。日ごろから児童生徒に対して猿と遭遇した時の対応を指導している。

乗合タクシー

財政支援要望を 他



井上 光浩

問 大畑地区等において「予約型乗合タクシー」実証運行結果から補助額や利用者の推移を踏まえ、国・県への財政支援を早急に行う必要があるのでは。

答 予約型乗合タクシーのほか、路線バスなどを維持する経費は年々増加傾向である。今後も引き続き関係自治体と協力し国土交通省九州運輸局並びに県にも協力してもらい、課題解決に向けて取り組むたい。

問 市長はふるさと納税の今年度目標を5億円と言われたが経費など実質的な額を示すべきでは。

答 昨年は寄附額のうち送料を含む返礼品代に約40%、事務費に約15%の経費がかかったが、説明が不足していた。今後は実態も合わせて説明したい。



… 平成30年9月定例会の議案等の議決結果 …

番 号	件 名	議 決 結 果
議 第 5 9 号	平成30年度 人吉市一般会計補正予算(第4号)	原 案 可 決
議 第 6 0 号	平成30年度 人吉市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原 案 可 決
議 第 6 1 号	平成30年度 人吉市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原 案 可 決
議 第 6 2 号	平成30年度 人吉市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原 案 可 決
議 第 6 3 号	平成30年度 人吉市介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)	原 案 可 決
議 第 6 4 号	平成30年度 人吉市水道事業特別会計補正予算(第1号)	原 案 可 決
議 第 6 5 号	平成30年度 人吉市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原 案 可 決
議 第 6 6 号	平成30年度 人吉市工業用地造成事業特別会計補正予算(第1号)	原 案 可 決
議 第 6 7 号	平成29年度人吉市水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定について	継 続 審 査
議 第 6 8 号	平成29年度人吉市公共下水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定について	継 続 審 査
議 第 6 9 号	人吉市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原 案 可 決
議 第 7 0 号	人吉市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原 案 可 決
議 第 7 1 号	人吉市介護保険事業計画等策定・運営委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原 案 可 決
議 第 7 2 号	熊本県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について	原 案 可 決
議 第 7 3 号	工事請負契約の締結についての議決内容の一部変更について	原 案 可 決
議 第 7 4 号	平成29年度 人吉市歳入歳出決算認定について	継 続 審 査
意見第15号	日本語の指導等を必要とする児童・生徒への教育に対する国の支援を求める意見書	原 案 可 決
意見第16号	地方財政の充実・強化を求める意見書	原 案 可 決

… 平成30年9月定例会の請願・陳情等の議決結果 …

付託委員会	件 名	議 決 結 果
経済建設委員会	農道整備(拡幅・舗装)に関する陳情書	継 続 審 査
経済建設委員会	最低賃金の大幅引き上げと全国一律制度および、開かれた最低賃金審議会のあり方を求める陳情	継 続 審 査

議員別表決

…「表決が割れた」議案とその議員別表決…

議案番号	議員氏名 議案	塩見	宮原	高瀬	大塚	宮崎	平田	犬童	井上	豊永	西	本村	笹山	福屋	村上	永山	三倉	仲村	田中
		寿子	将志	堅一	則男	保	清吉	利夫	光浩	貞夫	信八郎	令斗	欣悟	法晴	恵一	芳宏	美千子	勝治	哲
議第72号	熊本県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	/

○：議案に対して賛成

●：議案に対して反対

／：議長は表決に加わりません

★日本語の指導等を必要とする児童・生徒への教育に対する 国の支援を求める意見書(要旨抜粋)

近年、国際化の進展や外国人労働者の受け入れに伴い、地方においても外国をルーツに持つ子供たちが増加傾向にある。日本語の指導等が必要なケースの場合、人材の確保など、その対応・対策に行政、学校現場共に苦慮をしている状況であり、特に自治体における日本語支援サポーターに対する報酬等、今後増大することが見込まれる財政面で大きな課題を抱えている。

そのような中、本年3月に中央教育審議会から答申がなされた第3期教育振興基本計画における基本的な方針の中で、日本語指導が必要な子供について国内の学校生活に適応するよう指導を行う

必要があることが明記されているが、この方針を受けて、一刻も早く国の積極的な関与が行われなければ、当該児童・生徒における教育の機会均等と一定水準の教育を保つことは困難であり、他の児童・生徒への影響や何よりも教育の地域格差を拡大することが深く憂慮されている。

今後さらに国際社会の一員として、児童の権利に関する条約に基づく教育環境を整えることは国の責務であり、日本語指導が必要な児童・生徒への教育活動について、国の積極的な関与及び財政面をはじめ国の支援を強く求めるものである。

上記の意見書は、10月26日に県へ要望活動を行うとともに、
国などの関係機関に提出しました。

★地方財政の充実・強化を求める意見書(項目のみ抜粋)

- 1 社会保障、災害対策、環境対策、地域交通対策、人口減少対策など、増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これに見合う地方一般財源総額の確保をはかること。
- 2 子ども・子育て支援新制度、地域医療の確保、地域包括ケアシステムの構築、生活困窮者自立支援、介護保険制度や国民健康保険制度の見直しなど、急増する社会保障ニーズへの対応と人材を確保するための社会保障予算の確保および地方財政措置を的確に行うこと。
- 3 地方交付税における「トップランナー方式」の導入は、地域によって人口規模・事業規模の差異、各自治体における検討経過や民間産業の展開度合いの違いを無視して経費を算定するものであり、廃止・縮小を含めた検討を行うこと。
- 4 災害時においても住民の命と財産を守る防災・減災事業は、これまで以上に重要であり、自治体庁舎をはじめとした公共施設の耐震化や緊急防災・減災事業の対象事業の拡充と十分な期間の確保を行うこと。また、2015年度の国勢

調査を踏まえた人口急減・急増自治体の行財政運営に支障が生じることがないように、地方交付税算定のあり方を引き続き検討すること。

- 5 地域間の財源偏在性の是正のため、偏在性の小さい所得税・消費税を対象に国税から地方税への税源移譲を行うなど、抜本的な解決策の協議を進めること。

同時に、各種税制の廃止、減税を検討する際には、自治体財政に与える影響を十分検証した上で、代替財源の確保をはじめ、財政運営に支障が生じることがないように対応をはかること。

- 6 地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化をはかり、市町村合併の算定特例の終了を踏まえた新たな財政需要の把握、小規模自治体に配慮した段階補正の強化などの対策を講じること。

同時に、地方交付税原資の確保については、臨時財政対策債に過度に依存しないものとし、対象国税4税(所得税・法人税・酒税・消費税)に対する法定率の引き上げを行うこと。

上記の意見書は、国などの関係機関に提出しました。

編集後記

備えあれば憂いなしとは、普段から準備をしておけば、いざという時何も心配がないということですが、猛暑による熱中症・大雨による災害・台風災害・地震災害が毎年のように日本全国で発生しております。災害対策を万全に期していても、自然災害に苦しまれらる日々、自助・共助・公助の助け合いの心で発災後は、前を向いて復旧活動に尽力していかなくてはならないと思っております。

秋晴れの中、黄金色に実った稲が、コンバインによって稲刈り作業が進む今年の収量は、食味はどうだろうか。鳥獣被害に頭を悩まされる市民の皆様も多くおられると思います。今後も、市議会の様子を、議会だよりを通じてお届けさせていただきます。

(表紙写真・文責)

永山 芳宏

次の定例会は
12月の予定です

【議会報編集委員会】 委員長／田中 哲 副委員長／仲村 勝治
委員／高瀬 堅一・大塚 則男・豊永 貞夫・本村 令斗・笹山 欣悟・永山 芳宏

人吉市議会の審議の様子をインターネットで視聴することができます！

人吉市議会では、議会の IT 化を推進しており、平成 30 年 12 月定例会から YouTube (ユーチューブ) を活用した本会議の配信を行います。

これまでスマートフォン等の携帯機器端末からは視聴することができませんでしたが、12 月定例会から視聴できるようになりました。

なお、動画を視聴される際は、以下の視聴方法及び注意(免責)事項に同意のうえ、ご覧ください。

○配信の内容

議場で行われる本会議

○視聴方法

YouTube の視聴には、最新のブラウザ、良好なインターネット環境が必要となります。(※詳しくは YouTube のウェブサイトにてご確認ください。)

○注意・免責事項

- (1) 動画は、人吉市議会の公式記録ではありません。本会議の公式記録については、会議録をご覧ください。会議録は、会期が終了した概ね 3 ヶ月後に市ホームページ、市議会事務局、市図書館にて閲覧できます。
- (2) 動画の著作権は本市議会に属します。なお、動画の画面あるいは内容を許可なく他のウェブサイトや著作物等へ転載することを禁止します。また、著作権法で許された範囲を超えた複製を固く禁止します。著作権法で許された範囲内で複製する場合でも、その複製物を目的外に利用したり、内容を改変することを禁止します。
- (3) 映像配信画面に表示される企業広告は、本市議会とは一切関係がありません。また、広告によるいかなる損害についても、本市議会は一切責任を負いません。
- (4) 本市議会は、各映像配信を管理する企業とは契約関係にないため、配信が正常に視聴できない場合、または視聴することにより何らかの損害が生じた場合にも、本市議会は一切責任を負いません。
- (5) スマートフォン等でご覧頂く際に通信事業者のパケット通信料がかかりますので、ご注意ください。
- (6) 多数の方が同時に中継をご覧になった場合、映像の表示に支障がある場合がありますのでご了承ください。
- (7) YouTube 上におけるコメントおよびハイライト等の作成はご遠慮いただいております。コメントおよびハイライト等につきましては、予告なく削除することがありますので、あらかじめご了承下さい。

議会報告会・意見交換会のお知らせ

議会報告会・意見交換会を下記のとおり開催します。どなたでもお気軽にお越しください。

日時：平成 31 年 2 月 2 日(土)
午後 2 時～4 時

場所：人吉市総合福祉センター
会議室



昨年度の議会報告会

人吉市子ども議会を開催しました

人吉市議会では、人吉市教育委員会と共催で「人吉市子ども議会」を平成 30 年 10 月 19 日(金)に開催しました。

市内 3 中学校の第 3 学年の各クラスから、生徒各 2 人の合計 18 人からなる「子ども議員」が、市民生活と行政との関わり、市が直面するさまざまな課題やまちづくりについて、活発に質問しました。また、代表 2 名が議長を交代で務め、議事進行にも挑戦しました。



各 学 校 の 子 ども 議 員 が 質 問 し た 内 容

順	質 問 項 目	質 問 の 要 旨	担 当	順	質 問 項 目	質 問 の 要 旨	担 当
1	第二中学校3年2組 子ども議員 柴原 隼輝 漆下 まどか ①若者が減少しない街づくりについて	○子育て支援 ○医療、出産 ○スマート IC ○大型店舗誘致	健康福祉部 建設部	5	第一中学校3年3組 子ども議員 平原 麻衣 丸山 結衣 ①人吉市の健康・福祉について	○市主催の交流イベント ○「スポーツ」を通しての交流 ○「食」を通しての交流 ○子供たちのむし歯予防	教育部 経済部 健康福祉部
2	第三中学校3年 子ども議員 嶽本 潤 上村 萌衣 ①観光名所「大畑駅」について ②教室周辺への冷水機設置について	○観光名所「大畑駅」 ○教室周辺の冷水機設置	企画政策部 教育部	6	第二中学校3年4組 子ども議員 甲斐 空斗夢 立山 らん ①まちづくりについて	○結婚問題及びスポーツ施設の充実(スポーツ観光都市)	企画政策部 教育部
3	第一中学校3年2組 子ども議員 早田 隆之介 山本 竜輝 ①福祉・経済産業から創るまちづくりについて	○福祉を交通の視点から見た意見及び交通整備 ○経済産業面での新しい雇用の形 ○高齢者雇用	建設部 経済部	7	第二中学校3年1組 子ども議員 尾崎 鈴太郎 大村 菜々 ①防災について	○消火器設置場所の把握、防災グッズ ○土砂災害、防災訓練	総務部
4	第一中学校3年4組 子ども議員 樋脇 桃子 山口 愛加 ①人吉の歴史や伝統・文化の継承について	○歴史や伝統・文化に触れるイベント ○歴史や伝統・文化に関する教育	教育部	8	第一中学校3年1組 子ども議員 田中 舞琳 渡辺 優美 ①人吉市の観光産業の活性化について	○SNS (インスタグラム等)の活用 ○フリー Wi-Fi の設置	企画政策部
				9	第二中学校3年3組 子ども議員 越替 菜々 山本 莉央 ①「Made in 人吉」について	○人吉ならではの特産物のPR	経済部